

令和7年度 東大阪市 LINE アンケート

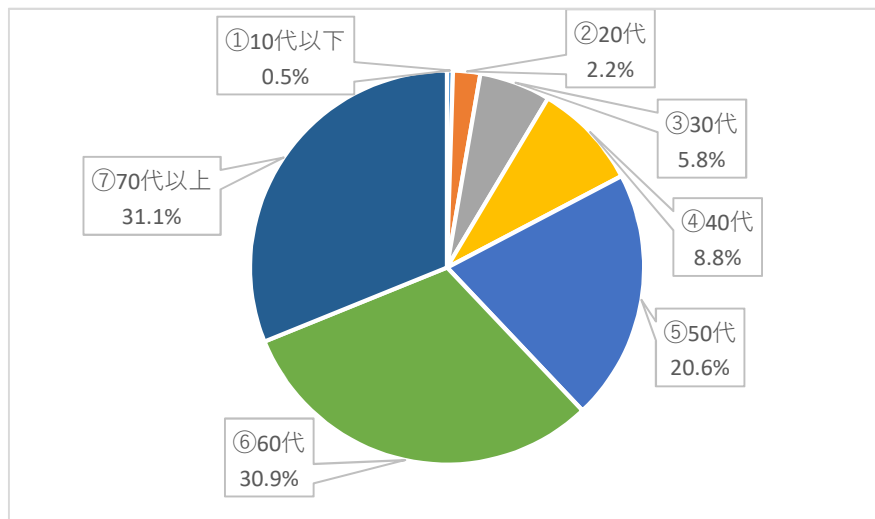
令和7年6月23日～6月30日に東大阪市 LINE 公式アカウントを活用して「市民の識字への意識に関するアンケート」を実施しました。

目的

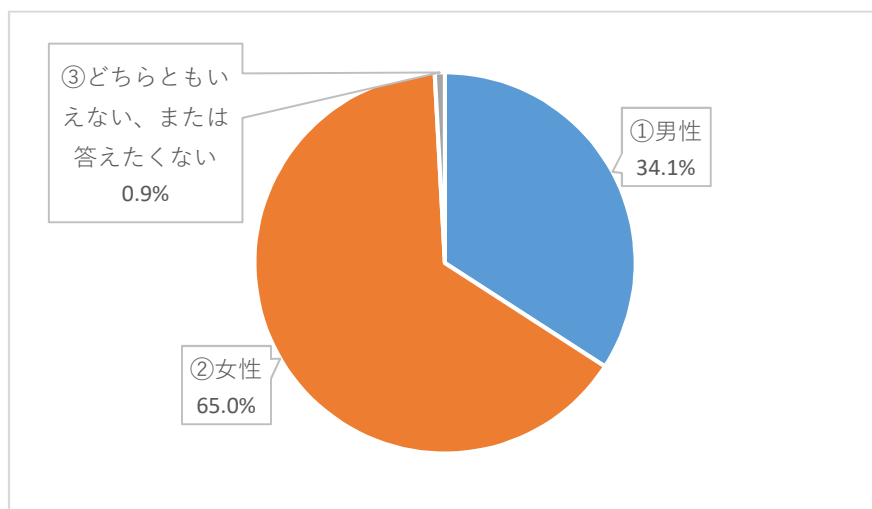
市民の識字に対する意識について把握し、今後の識字施策の方針や目標、施策の検討を行い、識字計画を策定するための基礎資料とするアンケート。

対象者	有効回答数
東大阪市 LINE 公式アカウントの友だちの内、東大阪市在住で登録されている方	1,028人

問 1. あなたの年齢を教えてください。

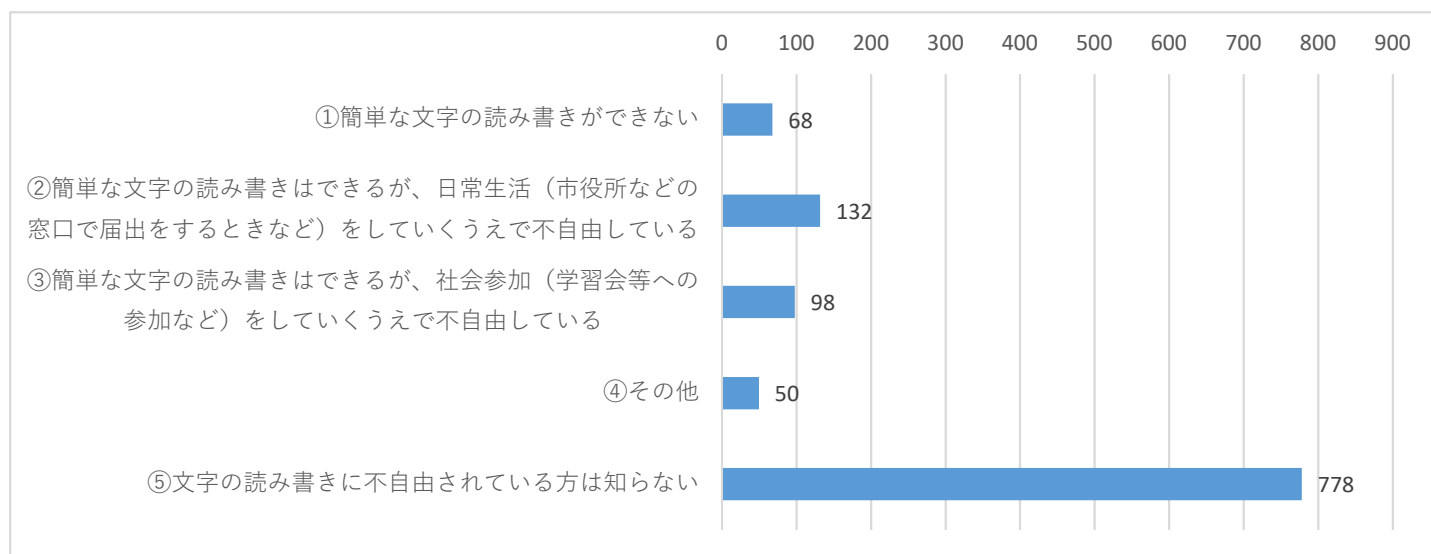


問 2 あなたの性別を教えてください。



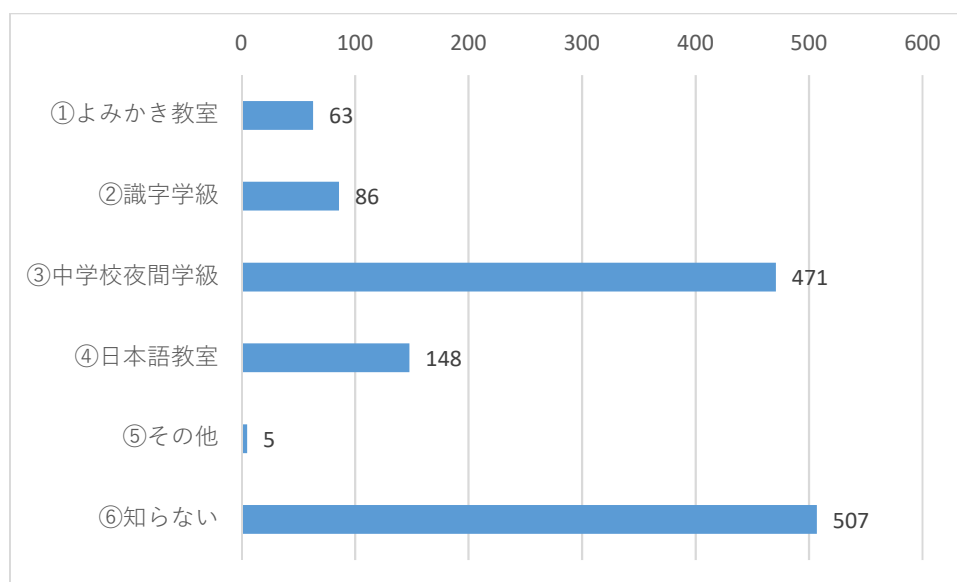
50代以上の方、また女性の方に多く回答いただきました。

問 3 あなたが知っている、文字の読み書きに不自由されている方はどのような状態ですか。(複数回答可)



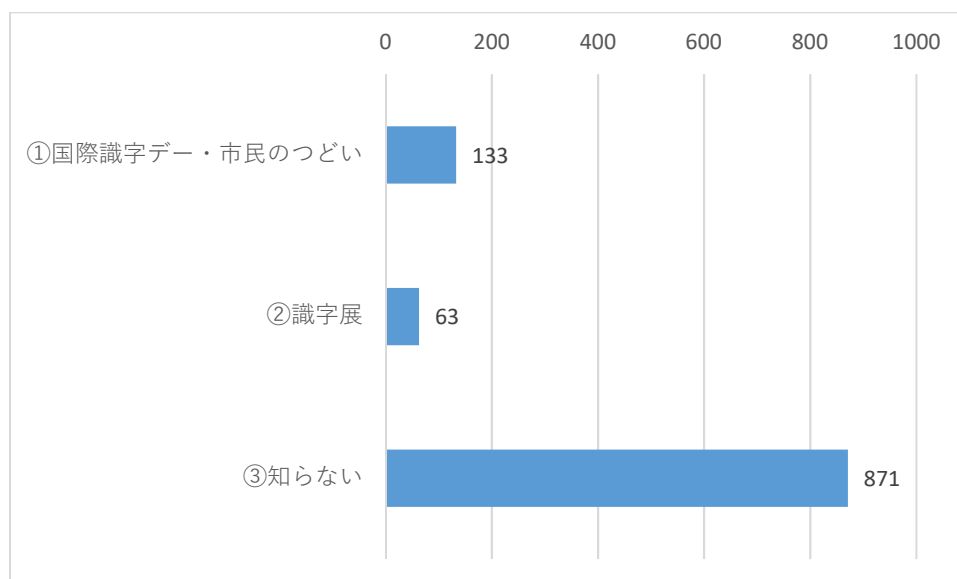
「⑤文字の読み書きに不自由されている方は知らない」と回答された方が大半を占める一方で、文字の読み書きに不自由している人が一定数いることがわかりました。

問 4 本市では、文字の読み書きに不自由している方や中学校までの義務教育を修了していない人等を対象とした取組を実施していますが、知っているものはありますか。(複数回答可)



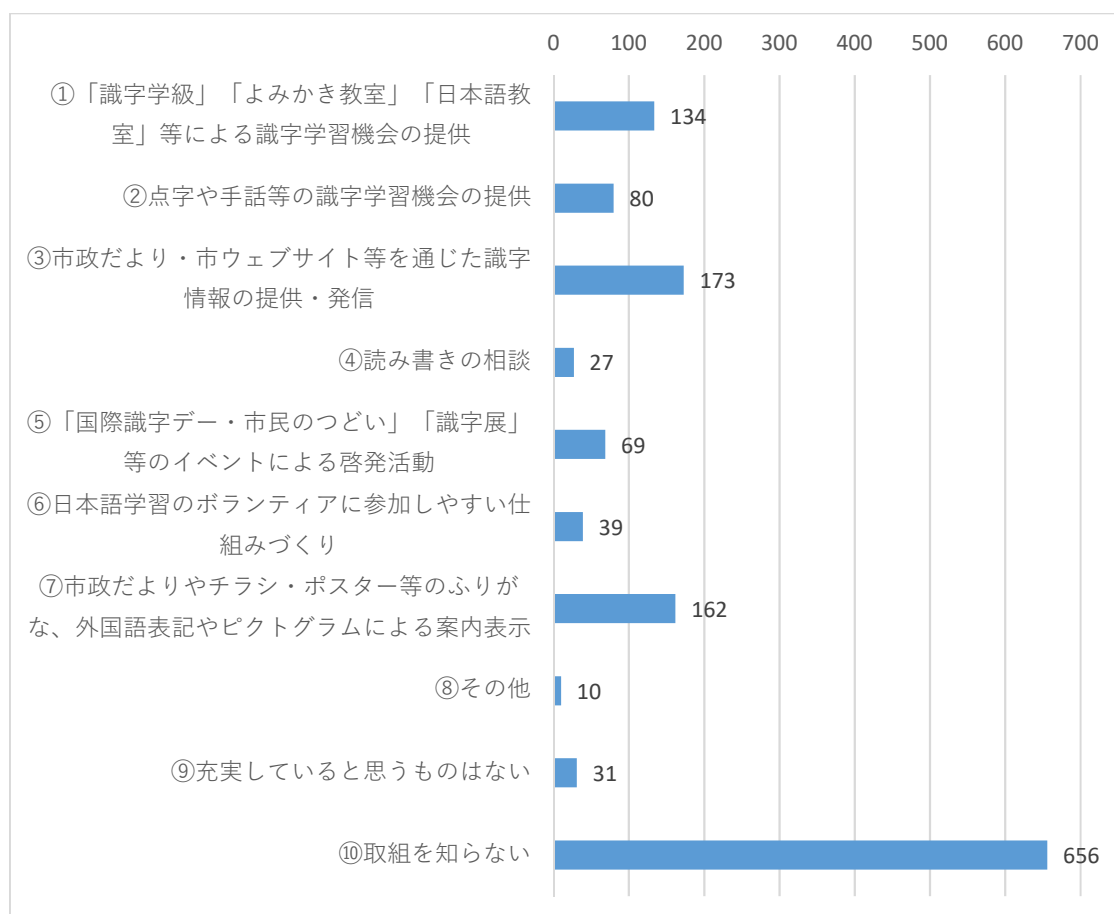
「⑥知らない」と回答された方が最も多くなっています。知っているもののの中では、「③中学校夜間学級」が他の教室や学級に比べて多くなっていました。

問 5 本市では、識字への理解と認識を深めていただくためのイベント等を開催していますが、知っているものはありますか。(複数回答可)



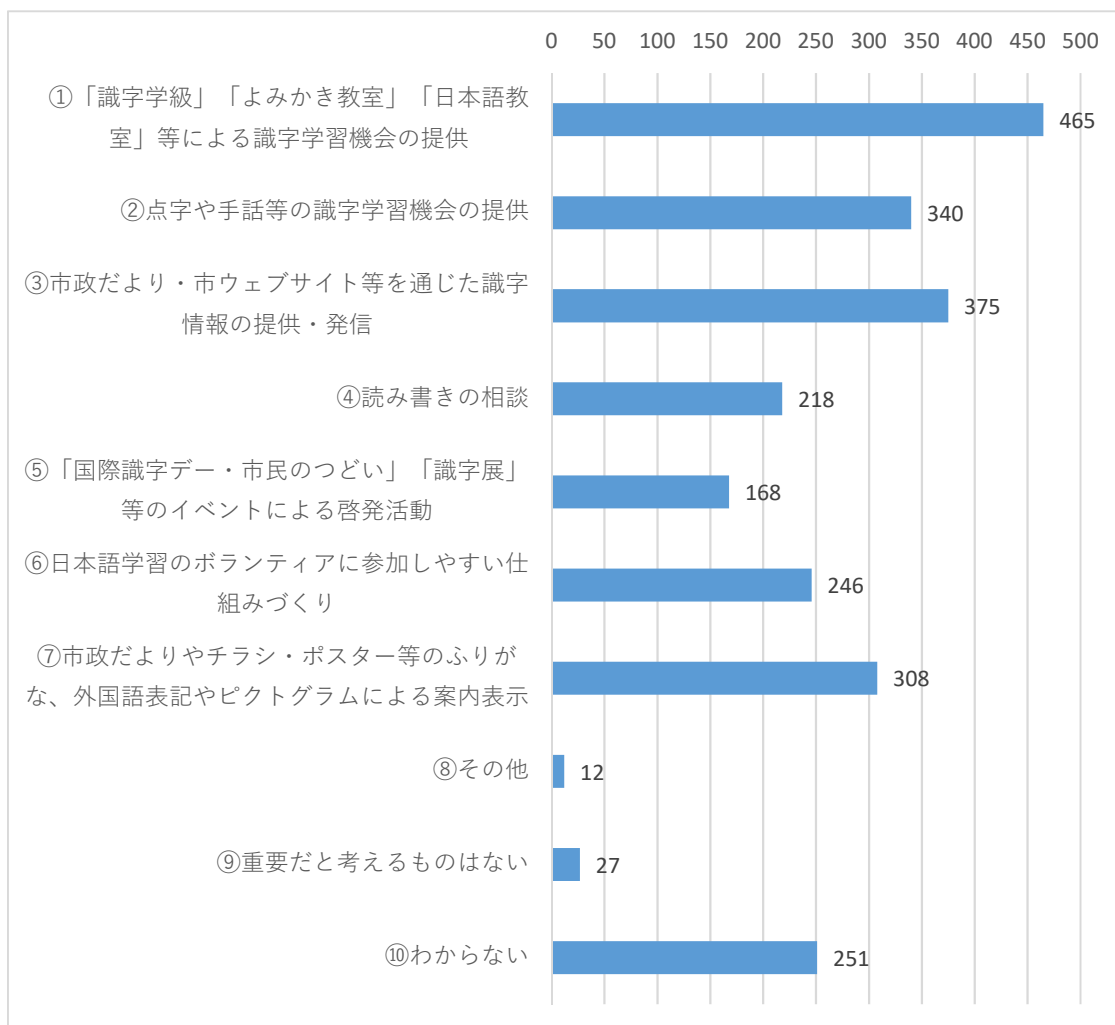
識字への理解と認識を深めていただくためのイベント等について、大半の方が知らないことがわかりました。

問 6 本市が実施している識字問題への取組で、充実していると思うものはありますか。(複数回答可)



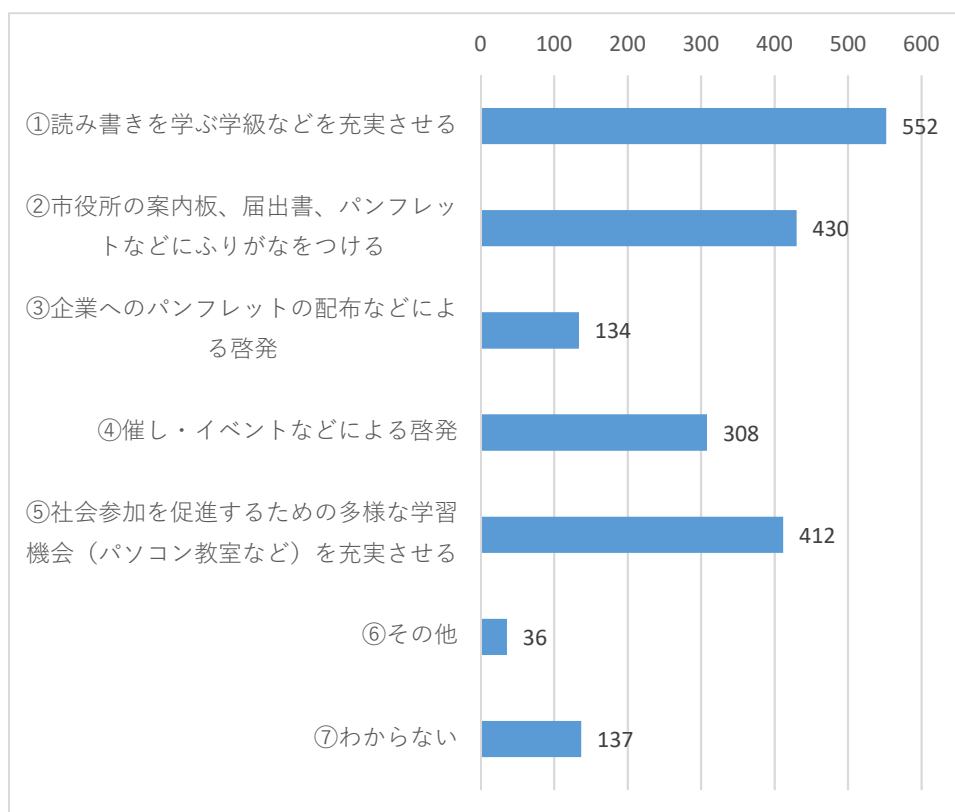
取組を知らない方が多くいる一方で、「③市政だより・市ウェブサイト等を通じた識字情報の提供・発信」や「⑦市政だよりやチラシ・ポスター等のふりがな、外国語表記やピクトグラムによる案内表示」といった取組に対し、充実していると思われる方も一定数いることがわかりました。

問 7 本市が実施している識字問題への取組で、重要だと考えるものはありますか。(複数回答可)



「⑨重要だと考えるものはない」と回答された方は非常に少なく、「①「識字学級」「よみかき教室」「日本語教室」等による識字学習機会の提供」や「③市政だより・市ウェブサイト等を通じた識字情報の提供・発信」をはじめ、さまざまな取組に対し、重要であると思われる方が多くいることがわかりました。

問8 読み書きに不自由をされている方のために、今後、市として取り組むべきことは、どのようなことだと思いますか。(複数回答可)



「①読み書きを学ぶ学級などを充実させる」が552件で最も多く、次いで「②市役所の案内板、届出書、パンフレットなどにふりがなをつける」が430件、「⑤社会参加を促進するための多様な学習機会（パソコン教室など）を充実させる」が412件となりました。

問9 ご意見ご要望や、選択肢になかった回答があればこちらにご記入ください。(自由記述)

- ・読み書き等出来る場所をもっと増やしていけたら良いと思う。
- ・読み書きに不自由されている方が、安心して気楽に参加できるイベントがあればいいと思う。
- ・識字問題を市政だよりやポスターで案内しても、認識出来ない(されない)かもしれないので、動画や SNS などでもわかりやすく伝えると良いと思う。
- ・自分から学びに行くのはなかなか難しいと思うので、自治会で催しをすることで入り口を入りやすくすることが大切ではないか。
- ・中学校や小学校の教室を利用した、読み書き教室の充実と、その存在の広報を工夫して、利便性を良くする事が大切だと思う。

- ・独居高齢者や単身者の読み書きが不自由な人に対する告知は それ自体がハードルが高く、「識字問題」自体をもっと広める必要があるかと思う。
- ・いい取組だと思うので、継続して欲しい。
- ・夜間学級の施設の充実及び教室の増設。
- ・学校や学級に行くだけではなく、通信教育のような物は考えられないか。
- ・アンケート内容の取組、すごく良いこととは思いますが、その立派な取組がピーアールされてない気がする。
- ・市役所や病院などの窓口対応する人が、やさしい日本語で相手の理解を確認しながら話すことや手話で会話できる職員が増えると良い。

※集計結果は、小数第 2 位を四捨五入しており、表記値と計算値との演算誤差が生じることがあるため、回答比率の合計が100%とならないことがあります。

※複数の回答を依頼した質問では、比率の合計が100%を越える場合があります。